

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2003-338780 (P2003-338780A)

【公開日】平成 15 年 11 月 28 日 (2003.11.28)

【出願番号】特願 2003-111250 (P2003-111250)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/005 (2006.01)

H 0 4 B 3/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/005

H 0 4 B 3/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 28 日 (2006.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

図 1 は、A D C 3 0 の前段に位置する電力正規化ブロック 2 0 を示す。電力正規化 2 0 は、アナログ A G C によって行うことができる。図 1 のシステム 1 0 0 では、電力正規化信号（電力正規化ブロック 2 0 の出力）は次に A D C 3 0 によってデジタル化され、適応トランスバーサル・フィルタ 4 0 の入力に印加される。式 1 は、入力データおよび係数ベクトルが与えられたときのトランスバーサル・フィルタ 4 0 の信号処理を規定する。適応トランスバーサル・フィルタ 4 0 の出力は、2 つの経路、信号経路および制御経路に分離する。信号経路出力は、元のデータ変調に用いた手法の逆を表すように、復調ブロック 7 0 によって復調される。復調の後、元の変調信号が何らかの形でエンコードされていた場合、復調信号のデコードも行う場合がある。復調器 7 0 の出力は、復元された対象データ信号となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

【発明の実施の形態】

式 1、3、および 4 を式 5 ないし式 7 と共に用いることによって、本発明のモード制御ブラインド適応トランスバーサル・フィルタの数学的基礎が得られる。図 2 A は、本発明の一実施形態のブロック図である。図 2 B は、本発明の別の実施形態のブロック図である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

【数 5】

$$w_g(k+1) = w_g(k) - \mu e_{cm}(k) x_g^*(k) \quad \text{式 5}$$

ここで、 w 、 μ 、 $e_{cm}(k)$ および $x(k)$ は定義済みである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

【数 6】

$$w_h(k+1) = W_h(k) - \mu e_{vm}(k) x_h^*(k) \quad \text{式 6}$$

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 】

